

民藝 MIYABI

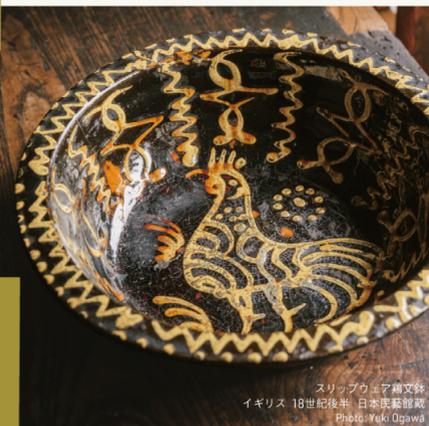
美は暮らしのなかにある

2025 2/8^{SAT} → 4/6^{SUN}



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

【シーサイドももち・福岡タワー南】



スリップウェア陶文鉢
イギリス 18世紀後半・日本民藝館蔵
Photo: Yuku Ogawa

2つの展覧会による
スペシャルコラボレーショントークを
福岡で開催!!

Terence Conran:

テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする

2025

4/19^(sat) → 6/8^(sun)

会場：福岡市美術館



コンランがデザインした「コン・チェア」
1950年撮影 レイモンド・ウイリアムズ・エスタード蔵
Photo © Estate of Raymond Williams
Courtesy of the Conran family
Conran Foundation and Conran IP LTD.

Making Modern Britain



▲民藝展



▲コンラン展

「豊かな暮らしのヒント

民藝が教えてくれたこと、コンランが教えてくれたこと」

2025年

3月20日(木・祝) 14:00~15:30 ※13:30 開場

登壇者

鞍田 崇 (哲学者、明治大学理工学部専任准教授)

中原 慎一郎 (株式会社コンランショップ・ジャパン代表取締役社長)

会場

福岡市博物館 1F 講堂

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3丁目1-1

定員

先着 200名 (事前申込不要)

入場無料

※民藝展の観覧券(利用後の半券可)が必要、当日でご提示いただきます。



会場風景「民藝 MINGEI 一美は暮らしのなかにある」
世田谷美術館、2024年 撮影：山本倫子



Summa

会場風景「テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする」
東京ステーションギャラリー、2024年 撮影：Yasuyuki Takaki

“私は何よりも普段使いの品が健全にならざば
この世は美しくならないと思う者です”

——柳宗悦「民藝の趣旨」私家本 1933年

デザインが暮らしを豊かにすること、
いつでもこれが私にとって一番大事なことだった。

ーテレンス・コンラン「マイ・ライフ・イン・デザイン」より

柳宗悦が、無名の職人が作る民衆の日用雑器の美に関心もち、その価値を人々に紹介しようと「民藝（みんげい）」という新しい言葉をつくり、民藝運動をスタートしたのは今から100年前。

テレンス・コンランが、美しく、誰にも届く生活の品を届けたいと、戦後復興が長期化するイギリスで、今では当たり前となった”ライフスタイルショップ”を世界で初めてオープンしたのは今から約60年前。

これまで交わり語られることのなかった、民藝とコンラン。時や場所は違えど、両者の視線は社会へ、人々の豊かな暮らしの実現へ強く向けられていました。60年、100年が経ち時代が巡っても、普遍的な価値や新鮮なヒントをもたらしてくれる民藝とコンラン。この二つの展覧会がどちらも福岡に巡回という機会に、コラボレーショントークを開催。豊かな暮らしへのヒントとして、「民藝が教えてくれたこととは?」「コンランが教えてくれたこととは?」を探っていきます。

鞍田 崇 哲学者 明治大学理工学部専任准教授

1970年兵庫県生まれ。
1994年京都大学文学部哲学科卒業、2001年同大学大学院人間・環境学研究科修士。
博士（人間・環境学）。
総合地球環境学研究所などを経て、2014年より現職。
主な著作に『民藝のインティマシー「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会
2015年）、『工芸批評』（共著、新潮社 2019年）、『民藝のみかた』（監修・解説、作品社
2024年）など。
民藝「案内人」としてNHK-Eテレ「趣味どきっ! 私の好きな民藝」に出演（2018年
放送）。



登壇者プロフィール



中原 慎一郎 株式会社コンランショップ・ジャパン 代表取締役社長

1971年鹿児島県生まれ。
2000年ランドスケーププロダクツ設立。
2022年4月現職に就任後、ザ・コンランショップ初のアジア編集の店舗、代官山店
や日本最大規模を誇る東京店をオープンし、2024年8月にはザ・コンランショップ初
のデザイン監修したホテル「HACIENDA VISON」が三重県多気町にオープン。
家具を中心としたインテリアデザイン、企業とコラボレーションしたプロダクト
デザインも行う。
デザインを通して良い風景を作ることをテーマに活動中。